

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/05/12号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## 通商リスク緩和期待が下値支える

NY原油先物相場は、1バレル=55.30ドルまで値下がりして4月9日以来の安値を更新した後、61ドル水準まで切り返す展開になった。週前半は石油輸出国機構（OPEC）プラスの供給増加方針を受けて、需給緩和リスクを織り込む形で値下がりした。終値ベースでは年初来安値を更新している。しかし、週後半は米英の貿易協定が成立したこと、10～11日に米中政府高官の協議予定が伝わったことを手掛かりに安値修正が進み、60ドル台を回復した。最近の取引レンジ内で売買が交錯した。

石油輸出国機構（OPEC）プラスが5月に続いて6月も日量41万1,000バレルの供給増加方針を示したことで、需給緩和と見通しの上値圧迫が続いている。トランプ米大統領が海外製作の映画、輸入医薬品に対して関税を課す方針を示したこともネガティブ。しかし、週後半は通商環境の改善期待が株高を促し、つれて原油相場も安値修正の動きが優勢になった。最終的には前週比でプラス圏に切り返している。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（5月2日時点）は、原油が前週比203万バレル減、ガソリンが19万バレル増、石油精製品が111万バレル減となった。

## 【展望】

### 需給緩和見通しで下振れリスク、OPECとIEA月報に注目

需給緩和見通しから、戻り売り優勢の展開が続く見通し。石油需要の伸びが鈍化するタイミングで、石油輸出国機構

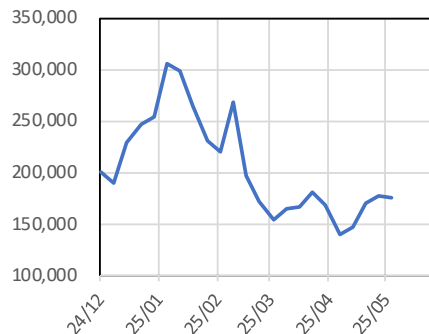
(OPEC) プラスは5月に続いて6月も大規模な減産縮小 (= 増産) を行う計画にある。需給緩和圧力の発生は避けられず、戻り売り優勢の展開が続く見通し。通商環境の改善期待で株価が底固さをみせていることはポジティブだが、さらに株高が続くことを前提にしても原油相場の下振れリスクの解消は難しい。60ドル台前半で上値の重さを再確認すると、改めて50ドル台中盤まで軟化する見通し。

5月14日にOPEC月報、15日に国際エネルギー機関 (IEA) 月報の発表が予定されている。前月に続いて需要見通しの下方修正といった動きがみられると、上値の重さが再確認しよう。IEAは年間を通じた供給超過見通しを再確認する可能性が高い。

OPECプラスがこのまま減産体制からの離脱を急ぐのであれば、OPECプラス以外の産油国の生産調整が求められる。米石油リグ稼働数は4月以降に改めて減少傾向を強めているが、原油価格抑制によって生産調整を促すプロセスが求められている。OPECプラスが6月の大規模な供給増加方針を示すと、ゴールドマン・サックスなど金融機関各社も改めて原油価格見通しを引き下げており、戻り売り優勢の地合が支持されやすい。

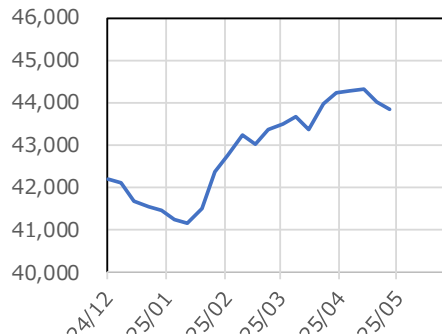
上昇リスクとしては、通商環境の改善期待を手掛かりに、株高連動の上昇が続く展開になる。需給よりもリスク投資の地合が重視されると、一段高を打診する可能性はある。また、引き続きイラン情勢などには注意が必要。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



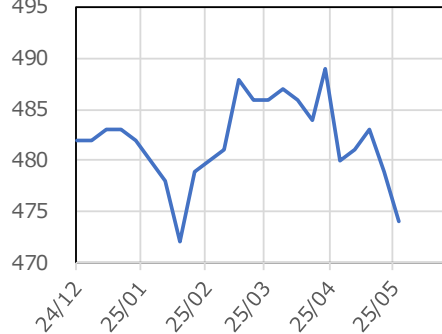
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

